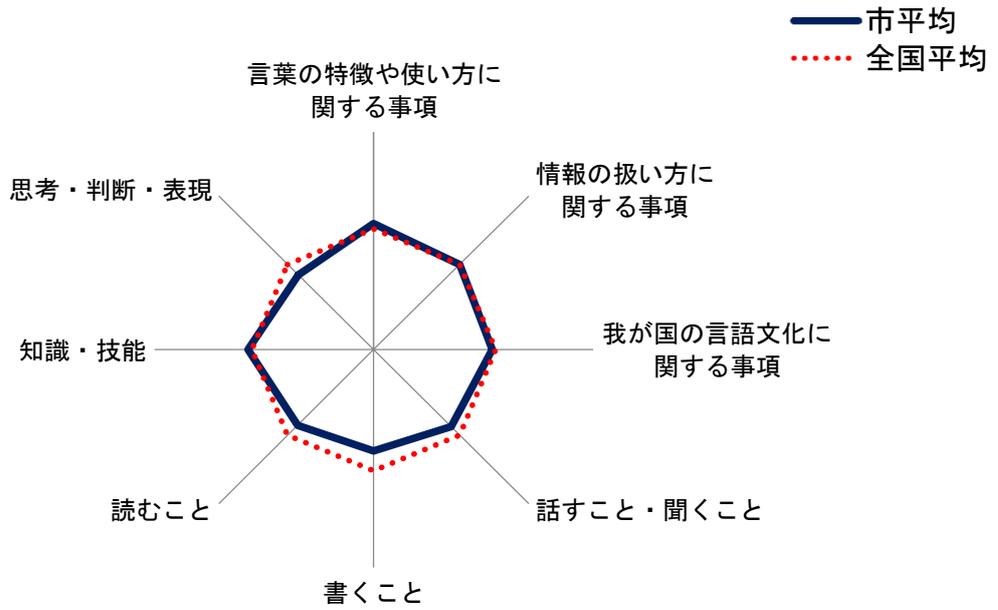
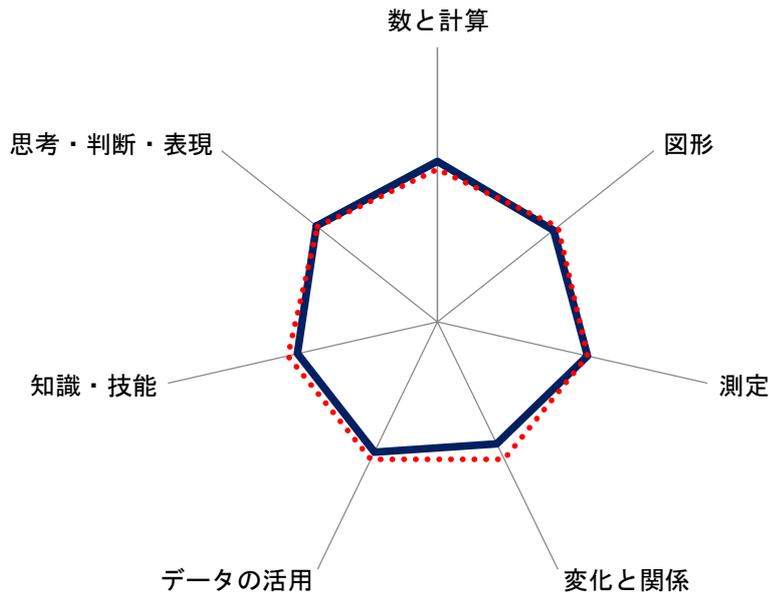


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

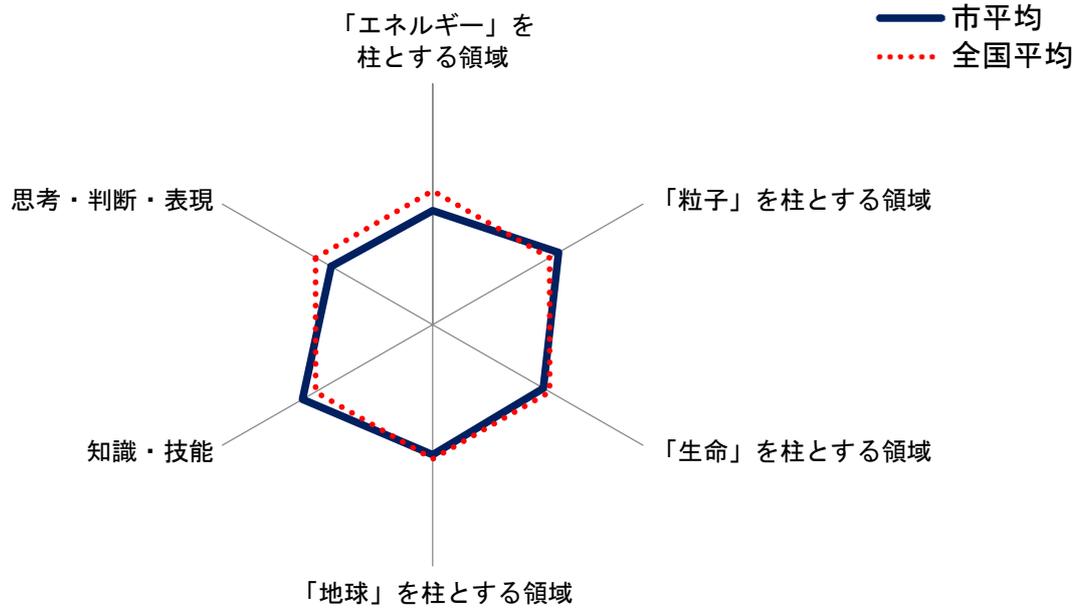


【算数】

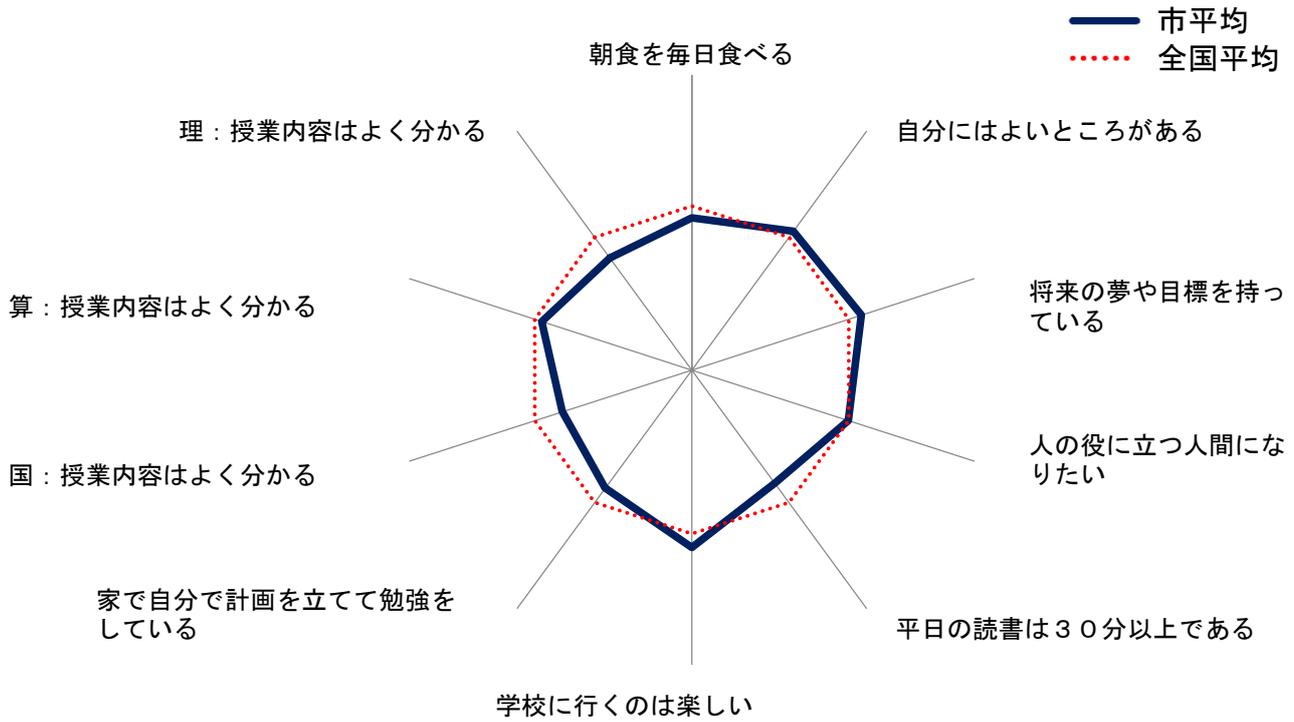


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、理科は、「知識・技能」の項目が全国平均を上回り、「思考・判断・表現」の項目が下回る一方、算数は、「知識・技能」の項目が全国平均を下回り、「思考・判断・表現」の項目が上回っており、学力の定着と向上に向け、児童一人一人の課題をしっかりと分析することにより、引き続き、各教科における知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が引き続き望まれる。

児童質問紙調査では、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」の項目が全国平均を上回っているものの、それ以外の項目は下回っている。特に、「平日の読書は30分以上である」「家で自分で計画を立てて勉強している」、各教科の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均との差が大きく、今後、読書活動のより一層の充実と児童一人一人に応じた学習の充実を図る指導の推進が望まれる。